

相互提案型協働事業評価シート

事業名	「地域猫」推進事業
-----	-----------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	十分達成できたとは言えません。コロナ禍での推進事業の中、制約も多く予定していた事業すべてをこなすことはできませんでした。	地域猫活動についての周知は進んでいる。一方、地域猫のマニュアルの作成については完成には至らなかった。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	当初、写真パネル展は各地域で開催する予定でしたが、市役所のみで開催（6月、9月、12月）となりました。しかし、多くの住民が訪れる市役所です。効果は大きかったと思います。また、協働事業を盛り込んだ名刺や活動の際に着用するベストを購入することもでき、行政との協働事業であることをはっきり示せることで、単なる猫好き活動ではないことを住民に広く知ってもらうことができました。	猫の不妊手術をし、適切な餌やりやトイレの設置をする地域住民が増えてきているとのこと。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	担当課の方々には何度も調整の場を作ってください、意見交換することができました。話し合いを重ねるごとに私たちの意図を組んでくださり共通の認識を持つことができたと考えています。	当初、自治会等が主体となるような地域猫活動を想像していたが、野良猫の問題の解決のためには、もっと小規模であっても、避妊去勢、餌やり、糞尿の管理ができることが重要であるという認識を持つことができた。

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	<p>コロナ禍で、どうやったら進められるか何度もスケジュールの調整を行いました。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、予定通りの進捗とはならなかったが、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができました。</p>
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	<p>できています。</p>	<p>対等な立場で協議することができました。</p>
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	<p>それぞれの立場から、出来ることや出来ないことなどを話し合い、すり合わせていきました。 担当課の業務にはこれまでなかったことですし、特にコロナ対応でお忙しい中、十分対応して下さったこと感謝しております。</p>	<p>野良猫の問題は、直接の避妊去勢や餌やりなどに介入することが困難であるが、積極的に解決のための活動をしていただいた。</p>

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果すことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域猫活動のしくみづくりの案作成 ・パネル展の計画、立案、実施 ・ポスター、パンフレット、チラシの企画、作成 ・地域住民への説明(相談会や電話対応など) ・経験に基づく不妊去勢手術のための捕獲のアドバイス ・捕獲補助、搬送協力 ・ケージや捕獲機の貸し出し 	<p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域猫活動の周知のための写真展につき、会場の予約等を行った。 また、今後に関して、地域猫活動のマニュアル等が作成された場合に、周知のための配架等を行う予定である。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正と考えます。	適正であったと思います。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	ポスター、パンフレット、チラシの企画、作成が未達成となりました。	設定した役割分担を果すことができましたと思います。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	写真パネル展においては、年に三回の開催は単独では難しかったと思います。また、スケジュール調整や備品の手配、広報、当日の備品準備なども時間を作っていただきました。その間、当会ではパネル展の作成に集中することができました。	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができました。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>地域猫活動のしくみづくりの案作成は進みましたので、今後も担当課とさらにすり合わせを行いたいと思います。住民より担当課へ野良猫問題の相談があった際には、解決方法として情報提供がスムーズにできるようになれば野良猫は増えず死畜処理にかかる税金が減ります。また、野良猫を通して住民同士のトラブルも少なくなり、結果的に相談の電話も減っていくと考えられます。</p> <p>写真パネル展や自治会掲示板に地域猫活動に付随して、飼い猫の適正飼育啓発も進めていきたいと考えています。</p> <p>野良猫に境界はないため、他市との連携も視野に入れ協力関係を築くことができたらとも考えます。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>座間市の現状を鑑みるに、地域猫のシステムを構築するというよりも、地域住民で猫の繁殖や糞尿を管理するという意識の変革が必要であると考えます。そのため、市としては地域猫に関する周知の面で関わるとよいかと思っています。</p>